# 令和2年度　学校評価票（高等部生徒）まとめ一覧表
## 普通科（ 2名／ 2名）　理療科（10名／ 10名）回収率100%

| No. | 質問内容 | A | B | C | D | A＋B | C＋D |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 先生方は、あなたの見え方など実態に合わせてわかりやすい・興味関心の持てる授業をしていますか。 | 58% | 42% | | | 100% | 0% |
| 2 | 先生方は、少人数による個別指導を生かし、各種大会やコンテストへの参加や応募に向け様々な場面で十分な支援をしていますか。 | 67% | 33% | | | 100% | 0% |
| 3 | （理療科の生徒のみ答えてください）<br>先生方は、臨床実習の指導や国家試験の合格に向け様々な場面で十分な支援をしていますか。 | 70% | 30% | | | 100% | 0% |
| 4 | 先生方は、成就感や人間性育成のために体験活動を積極的に取り入れていますか。 | 75% | 25% | | | 100% | 0% |
| 5 | あなたは先生たちの指導のもと、自分の障がいの状況や日頃の健康状態について把握し、適切な自己管理ができていますか。 | 58% | 42% | | | 100% | 0% |
| 6 | あなたは、学校給食などを通して、食全般において、健康を考えながら食事をしていますか。 | 36% | 36% | 18% | 10% | 72% | 28% |
| 7 | （寄宿舎のみなさんのみ答えてください）<br>あなたは、寄宿舎の生活において、自分のことは自分でするなど、自立に向けた生活ができていますか。 | 75% | 25% | | | 100% | 0% |
| 8 | あなたは学校での様々な活動を通じて、他の学校の生徒や地域の方との交流をすることが出来ていますか。 | 38% | 25% | 25% | 12% | 63% | 37% |

A：大変良い　B：良い　C：あまり良くない　D：悪い

### ○分析

高等部の通常の学級の生徒を対象にアンケートを実施しました。

【行きたい学校：一人ひとりの自己実現を図るために必要な学力の向上を目指し、障がいの特性等を配慮した「わかる授業」の実践】

No.1「先生方は、あなたの見え方など実態に合わせて興味関心の持てるわかりやすい授業をしていますか。」の質問には、A評価が昨年度に比べて20%以上の低下がみられたため、興味関心の持てる主体的・対話的で深い学びを目指す授業の実践のさらなる工夫が必要だと思います。No.2「先生方は、少人数による個別指導を生かし、各種大会やコンテストへの参加や応募に向け様々な場面で十分な支援をしていますか。」の質問においても、コロナ禍の影響で各種大会が中止になるなど。前年に比べA評価が80%から67%へ低下しました。

【行かせたい学校：発達段階や障がいの状況に応じて、健康で安全な生活を営む姿勢の育成と家庭と協力しながら自立に向けた能力の向上】

理療科ではコロナ禍のため臨床実習が9月まで実施できませんでしたが、実技力向上のために校内の教職員の協力を得て実習を行いました。寄宿舎では自立に向けた生活能力の向上に努めるなどし、宿舎生に対する質問において昨年度の比べA評価が8%高い評価を得ました。なお、自分の健康を考えての食事に関してあまり意識をしていなかったとのCとDの評価が18%と10%の回答があり、これに向けては関係者で連携をとり、一層の食育の推進を図っていきます。

【頼りたい学校：地域との協働を重視し、学校のみならず様々な団体等との交流及び共同学習を行い、積極的な理解啓発活動の推進】

No.8「あなたは学校での様々な活動を通じて、他の学校の生徒や地域の方との交流をすることが出来ていますか。」の質問に対し、CとDの評価が25%と12%であったことは、コロナ禍の影響で様々な活動や交流の機会が失われたことによるものと考えられます。